

## C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和8年5月28日

部局等名	議会事務局	課かい名	議会事務局	推進責任者氏名	森永尚子
------	-------	------	-------	---------	------

### (1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

#### ① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	空調に関して、夏季の冷房時は25～28度、冬季の暖房時は18～20度を目安に設定し、窓の開閉、ブラインドの活用等により、電力使用量の削減及び室温の適正管理に務めた。
	具体的内容	議会フロアにおける空調による電力使用量を削減する。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	プラスチック等のリサイクル可能なものごみとの分別を徹底した。また、フラットファイル等、再利用可能な消耗品は再利用を徹底した。
	具体的内容	執務室内におけるごみの分別を徹底する。また、消耗品や備品の再利用や転活により、廃棄物の削減に努める。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	本会議を含む諸会議や打ち合わせで使用する資料について、Sidebooksへの格納を徹底し、不必要な印刷はしないようにした。内容を確認したうえで、やむを得ず印刷する場合は、両面印刷・集約印刷、裏面の利用を基本とした。
	具体的内容	議会の会議等に使用する紙の量を削減する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

#### ② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

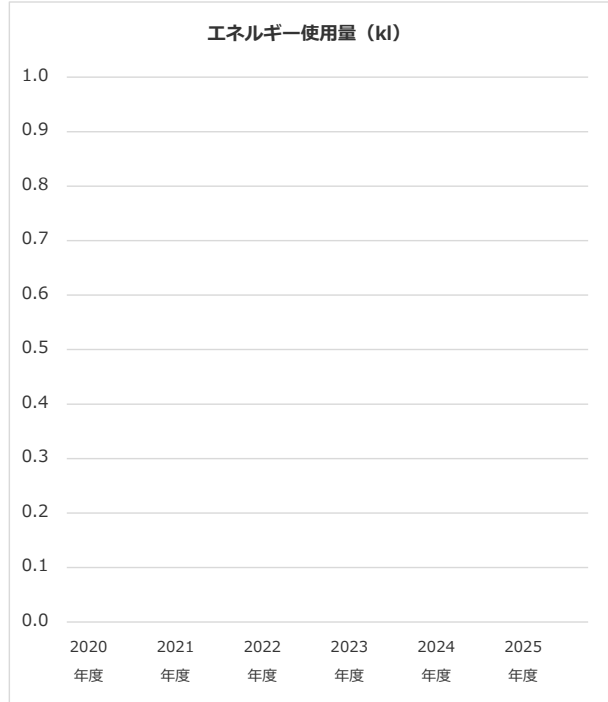
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

#### 設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月13日に書面にて実施 議会事務局内で、C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	10月17日に書面にて実施 議会事務局内で、C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について説明するとともに、取組目標及び具体的な取組を共有した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和8年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
継続した取り組みとして、打ち合わせでのSidebooksを活用した電子データ資料の利用がさらに定着し、ペーパーレス化の浸透が進んでいる。 加えて、昼休み中の事務室消灯や未使用エリアの廊下などのこまめな消灯を引き続き徹底し、電気使用量削減に貢献していると評価される。	引き続き、Sidebooks、ロゴチャット及びメール等を活用した情報共有を推進し、ペーパーレス化のさらなる定着を目指す。 また、会議等の時間管理を徹底し、冷暖房のこまめな調整を行うことで、一層のエネルギー使用量削減に努める。